



千日紅

花言葉は
「安全」

第1号

平成29年5月25日

発行：入谷小学校

文責：主幹教諭 小野寺孝夫

「ありえない」はありえない

「8つ」の教訓 2, 3より

5月21日(日)の夕方、内閣官房から「北朝鮮から弾道ミサイル1発発射EEZ外に落下か」のニュースは記憶に新しいと思います。先週14日(土)早朝にも弾道ミサイルの発射をしたばかりで1週間おいてという短い間隔は今回が初であった。正に「ありえないこと」が起った瞬間がありました。

ここ最近、子どもたちに関わるニュースとしても、3月に那須高原スキー場であった高校生の雪崩事故、千葉県であった女児遺棄事件は記憶に新しいこととしてあげられます。雪崩事故は高体連の管理下、女児遺棄事件の容疑者は保護者会の会長というショッキングな結末を迎え「ありえない」と言わざるをえません。

先日、5月2日に『弾道ミサイル落下時の行動について』というプリントを各家庭に配付させていただきました。もしや、万が一の場合ではありますが、もう一度各家庭で見ていただき心の備えをしていただきたいと思います。

宮城県では東日本大震災の教訓を踏まえ『みやぎ学校安全基本指針』を策定しております。その中に「後世に伝えたい8つの教訓」(右図)を紹介いたします。学校では、この教訓をもとに災害安全だけでなく、生活安全、交通安全について職員が組織的に体制を整えながら子どもたちの命を守ることに力を注いでいます。

後世に伝えたい「8つ」の教訓

- 1 安全体制組織は年度更新
防災に対する日頃の教職員の共通理解・共通実践！
(子どもたちの命を守る積極的な話し合いと役割分担等の確認)
- 2 「ありえない」はありえない① 避難訓練はあらゆる想定でこれまでの避難訓練の見直し！
(津波等あらゆる災害を想定し、授業時間以外も含めた避難訓練の実施)
- 3 「ありえない」はありえない② 避難場所の確保は具体的に複数準備(マニュアルの自校化)
二次災害に対応した、避難場所(二次・三次)の設定・避難経路の確認！
(これまでの想定にとらわれない安全を確保する避難場所・避難経路)
- 4 自動車・テレビより災害時は自転車・ラジオが便利
状況に応じた安否確認マニュアルの設定！
(停電時を想定した通信手段の検討)
- 5 保護者への引き渡しが安全策とは限らない
保護者と引き渡しルールを事前に確認！
(子どもたちや保護者の命を守る引き渡し方法の確認)
- 6 防災は、知恵をしづらって地域とともに
市町村部局と連携した、避難所運営マニュアルの整備及び避難所運営！
(地域に根差した防災体制・備蓄品等の整備と関係部局との役割分担)
- 7 防災は、子どもも大人も日頃の備え(防災意識の一層の内面化)
登下校中及び在宅時の避難対応の指導！
(いつでも、どこでも避難できる場所の設定・確認と家族との約束事の確認)
- 8 「心の寄り添い」をみんなの手で
学校を中心とした専門家による心のケア！
(発災後2・3年先を見据えた継続した子どもたちと教職員の心のケア)



国民保護ポータルサイトモバイル

左のQRコードは『国民保護ポータルサイト』につながる画像です。非常時の行動について、PCやスマートフォンで再度確認をお願いします。



校庭へ第二次避難です。
「おさない」「はしらな
い」「しゃべらない」「も
どらない」の『おはしも』
をしっかりと実践して避難行
動が立派にできました。さ
すが「防災学習」実践校で
す。

避難訓練の最後には、消防署員の方による「放水訓練」の演示が行われました。演示してくださいました署員の方は入谷小学校出身の山内隊員です。演示は指揮台の上での着替えから実施し、昇降口前の階段を駆け上がる時は「はえー」の子どもたちの声、南三陸町は優秀な隊員に守られています。



ともし先動こた我どに第どわ
おたたしでと。々も第一もれ5
褒ち。てきで避教が二次たま月
めのそ行る突難員い次避ちし8
の整の動か発訓のる避難はた。日
こ然後すが的練訓こ難'教
とと'ベ大なは練とをそ師一
ばし消き事こ基とを行の指○に
をた防かにと本し想い後示時地
い行署改なが的定ま揺の三震
た動のめつ起な手しられも五想
だが方ててき行順てたがと分定
き」の考きた動の検。お机に避
ます講えまとの確索逃さの地難
しば評さすき確認行げまに發
たらでせ。に認を動遅りに發
しはら何どをしをれも生'が
いれをうすま行た校ぐが
「どま優行るしい子庭り子行

「おはしも」の実践